# 『おまかせ！数学屋さん』1巻～3巻
向井 湘吾/著　ポプラ社

**A高**さんが紹介してくれました。

A高さんは、普段、**スポーツをしています**
A高さんにとって、この本は**「勉強になった本」**とのことです

**A高さん**からのメッセージです

様々な身の回りの問題を数学を使って解決していくという話です。

自分は数学が苦手ですが、この本だと頭にスッと入ってきました。また、ストーリーもあるのでとても面白いです。

以上のことで、この本をオススメします！！

# 『シーラカンス』
# いしい しんじ/作　金の星社

**いすたび**さんが紹介してくれました。

いすたびさんは、普段、**本づくりをしています**
いすたびさんにとって、
この本は**「気持ちが楽になった本」**とのことです

**いすたびさん**からのメッセージです

シーラカンスの刺身を食べてみたいと釣りの旅に出た男の、いきあたりばったりでてきとーなお話。

1時間ほどの旅の間になんとなくお気楽な気分になれます。

**なおなおさん**がこの本を借りました。

**なおなおさん**からの感想です。

子どもの本だとなめてかかったら、どんどん話にひきこまれてしまった。話のオチがどうなるのかが想像していたのと違ったので、またおもしろかった。

また福袋を利用したい。

今度はどんな出会いがあるのか、楽しみです。

# 『運命の絵　-中野京子と読み解く-　もう逃れられない』
中野 京子/著　文藝春秋

**のび太のばっちゃん**さんが紹介してくれました。

のび太のばっちゃんさんは、普段、**料理と読書をしています**
のび太のばっちゃんさんにとって、
この本は**「勉強になった本」**とのことです

**のび太のばっちゃん**さんからのメッセージです

私には、中野京子さんの『怖い絵』は、まさしく「目からウロコ」の本でした。漫然と鑑賞していた絵画にこんなに深いメッセージが含まれていようとは。それ以来、絵画をどう読み解くか？ということにとても興味を持ち、世界の絵画が見られるという大塚美術館にしばしば足を運びました。

今回福袋にいれるのは『怖い絵』本自体（注：内容ではない）が古いので、できれば新しい本がいいだろうということで、この本を選びました。中野京子ワールドを充分に楽しんでください。

**にゃん太さん**がこの本を借りました。

**にゃん太さん**からの感想です。

あまり興味のない絵画。正直「しまった」と思いました。それでも「中野京子ワールド」を少しでもわかればいいかなと、とても軽い気持ちで読み始めました。といっても「中野京子」も知らないので、とりあえず教科書レベルで知っていた「ゴーギャン」と「ターナー」を読みました。ゴーギャンの画家でしか生きられない天才ぶり。ターナーの絵にこめられた思い。その2人に対する中野氏の「愛情」は読みとれて、ほんの少し美術、絵画について学習できたと思います。たしかに「勉強になりました」。

「のび太のばっちゃん」さんへ…年齢的に同じくらいかなと思いますが、良い本を紹介していただいて感謝します。私もまだ行ったことのない大塚美術館へ行ってみたくなりました。

# 『赤ちゃんと僕』
# 羅川 真里茂/著　白泉社

（おなまえなし）さんが紹介してくれました。

（おなまえなし）さんは、普段、**お仕事をしています**
（おなまえなし）さんにとって、
この本は**「たのしかった本」**とのことです

# 『デフレの正体』藻谷浩介著

**catfish（なまず）**さんが紹介してくれました。

catfish（なまず）さんは、普段、**経営をしています**
catfish（なまず）さんにとって、この本は「勉強になった本」とのことです

**catfish（なまず）さん**からのメッセージです

タイトルのままですが、悪モノとされているデフレの実態。また、日常なにげなく使用している“不景気”という言葉。それらにズバリと答えを出してくれています。

**図書館大好きさん**がこの本を借りました。

**図書館大好きさん**からの感想です。

「景気さえ良くなれば皆がハッピー」になる。コロナ禍の今、TVや新聞、ネットでは株価が…、失業者が…と目にすることが多いように思います。この不安感も景気さえ良くなれば何とかなるのでは？と思いこもうとしているところもあります。

この本が書かれた経済状況と、コロナ禍の今では少し異なっている部分があります。でも、高齢者の方が財産の一部を子世代（孫世代）に渡すことで経済を活性化させることが、高齢者にとっての自己防衛になるという考え方、若者の所得を増加させることを推進することは企業の「エコ」への配慮することと同じであるべきだという考え方が今の日本に浸透すればよいのにと思いました。日本を含め世界が早く元気になりますように。

# 『自由の女神物語』
# メアリー＝シャピロ/文　偕成社

**10×10×10のルービックキューブ**さんが紹介してくれました。

10×10×10のルービックキューブさんは、普段、**小学4年生です**
10×10×10のルービックキューブさんにとって、
この本は「勉強になった本」とのことです

**10×10×10のルービックキューブさん**からの
メッセージです

自由の女神をさいしょからさいごまで
(1865年～1986年)作るのがすごく苦労したのが
わかります。

# 『ピーナッツバターの本』
# HAPPY NUTS DAY/著　誠文堂新光社

**くまお**さんが紹介してくれました。

くまおさんは、普段、**caféめぐりをしています**
くまおさんにとって、この本は**「たのしくて、勉強になった本」**とのことです

**くまおさん**からのメッセージです

落花生が好きでよく食べていますが、ピーナッツバターを簡単に作れることを知りました。

ピーナッツバターを使ったいろんなレシピも参考になりますよ。

**@sakaejyotoさん**がこの本を借りました。

**@sakaejyotoさん**からの感想です。

おいしいものがすきならとくにオススメ！という一文(※)にひかれて借りてみました。

手作りできるなんて！という感動と、レシピの幅広さ、パンにぬる他にこんなにも使えるのかと勉強になって、楽しかったです。

きっと福袋に入っていなかったら、手にとることのなかった本だと思いました。すてきな一冊と出会わせていただいてありがとうございました！

※　図書館の担当者が福袋に書きました

# 『種をまく人』
ポール・フライシュマン/著　あすなろ書房

**城東図書館の司書です**さんが紹介してくれました。

城東図書館の司書ですさんは、普段、**図書館でお仕事をしています。**
城東図書館の司書ですさんにとって、
この本は**「たのしくて、感動した本」**とのことです

**城東図書館の司書ですさん**からのメッセージです

アメリカ、オハイオ州クリーヴランドの一角にあるゴミ捨て場。一人の少女がそこにマメを植えたことから始まる物語。様々なルーツを持った人々が集まる街。警戒心や不信感にとりつかれていた人々が徐々に打ち解けていく。

人はどんな時に優しくなれるのかなと思いました。楽しい本ですよ。

# 『パパはジョニーっていうんだ』
# ボー・R.ホルムベルイ/作　BL出版

**城東図書館の司書です**さんが紹介してくれました。

城東図書館の司書ですさんは、普段、**子育てしながら仕事をしています**
城東図書館の司書ですさんにとって、この本は**「感動した本」**とのことです

**城東図書館の司書ですさん**からのメッセージです

両親が離婚し、母親と暮らす少年が父親と1日を過ごす。久しぶりに父親といられるのがうれしいのか、少年は行く先々で父親を紹介してまわる。「パパはジョニーっていうんだ！」。

離婚後の、いわゆる面会交流を描いた絵本です。1日だけだけど、大好きな人と一緒にいられる喜びと、日の終わりには必ず別れなければいけない切なさとがないまぜになって感じられます。私自身が男親だからか、子どもの目線にも、父親の目線にも共感できると感じました。

育児がしんどい時に、子どもへの愛情を確かめるような気持ちで読んだのを覚えています。

**じゃっこちゃんさん**がこの本を借りました。

**じゃっこちゃんさん**からの感想です。

クリスマスプレゼントを開ける時のようにわくわくしながら福袋から本を取り出しました。とてもすてきな本を紹介してくださり有難うございます。

私は、双子の子育ても終わり、もう二人は巣立っていったので、久しぶりに“子どもの気持ち”を思い出していました。お互いに尊敬しあう親子は素晴らしい関係ですね。立派なお父さんです。映画の「クレイマー・クレイマー」を彷彿とさせる物語です。もうピザ屋さんあたりから鼻の奥がツーンとなり、最後はティッシュを探しました。年をとると、こんなものです。

ぜひ、子育て中のお母さんに読んでほしい物語ですね。
有難うございました。
<子育てがんばって！若いお母さん>

# 『365まいにちペンギン』
# ジャン＝リュック・フロマンタル/文　ブロンズ新社

**城東図書館の司書です**さんが紹介してくれました。

城東図書館の司書ですさんは、普段、**子育てしながら仕事をしています**
城東図書館の司書ですさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

城東図書館の司書ですさんからのメッセージです
以前、別の図書館で仕事をしていた時に、利用者の子どもさんに教えてもらった本です。

あるおうちに毎日1羽ずつペンギンがおくられてくるというお話。おうちの人たちがなすすべもないままにペンギンだらけになっていくところがとても面白いと感じました。

〔子どもさんへ〕ある おうちに どんどん ペンギンが
やってきます。とても たいへんなことに なります。
たのしい えほんです。

# 『おうちにいれちゃだめ！』
# ケヴィン・ルイス/作　フレーベル館

**城東図書館の司書です**さんが紹介してくれました。

城東図書館の司書ですさんは、普段、**子育てしながら仕事をしています**
城東図書館の司書ですさんにとって、この本は
**「たのしかった本」**とのことです

**城東図書館の司書ですさん**からのメッセージです

ある日、みつけた虫を家に持って帰ったところ、母親におこられた少年。虫がダメならといろいろな生き物を連れて帰ります。エスカレートする動物たちと「こんな動物が家にやってきたら…」をマジメに絵にする楽しさ。小学校で読み聞かせするとよくウケる本です。

〔子どもさんへ〕いろいろな　どうぶつを　かってみたい おとこのこの　おはなしです。どんな　どうぶつが　でてくるかな。

**たっくんさん**がこの本を借りました。

**たっくんさん**からの感想です。

3歳の男の子に読んであげました。

最後まであきずに真剣に聞いてくれました。

知っている動物ばかりだったので、「あっ、ぞう！」とか「ここにムシがいる」とか言ってくれました。

最後のクジラでは、びっくりして笑っていました。

親子で楽しく読めました。

ありがとうございました。

# 『人生最後のご馳走』
# 青山 ゆみこ/著　幻冬舎

**おあっちゃま**さんが紹介してくれました。

おあっちゃまさんは、普段、**仕事が休みの平日は朝10時から夕方4時まで2時間サスペンス三昧です**
おあっちゃまさんにとって、この本は**「感動した本」**とのことです

**おあっちゃまさん**からのメッセージです

「食べる」ということを考えたときに、何の為に食べているのだろうと。生きる為に食べる。では生きる為だったら「食事」という作業がつらくても食べますか？

「ご馳走」を思い浮かべると…フランス料理？ステーキ？

この本は「食」の概念を覆す、感動の一冊です。

# 『兎の眼』
# 灰谷 健次郎/著　角川書店

**にゃん太**さんが紹介してくれました。

にゃん太さんは、普段、**家にいます**
にゃん太さんにとって、この本は**「感動し、勉強になった本」**とのことです

**にゃん太さん**からのメッセージです

退職するまでの40年間を支えてくれた小学校教師のバイブルともいえる本です。学生時代に読み、教員採用試験にも持って行って「お守り」にもしました。

すべての子ども一人ひとりを神の子のように考えて接する「小谷先生」や「足立先生」のような教師像を目指したのですが。

教育に少しでも関心のある方にぜひ読んでほしいです。

# 『エンジェル　エンジェル　エンジェル』
## 梨木 果歩/著　原生林

**あーちゃん**さんが紹介してくれました。

あーちゃんさんは、普段、**ブックカフェの店員をしています。**
あーちゃんさんにとって、この本は
**「感動し、気持ちが楽になった本」**とのことです

**あーちゃんさん**からのメッセージです

現代の少女コウコと過去の少女さわこ。

二人は孫と祖母として、家の熱帯魚が繰り広げる血みどろの争いを見つめる。そして祖母さわこは、少女時代に同級生の孝子（たかこ。愛称コウちゃん）への嫉妬ゆえに犯した犯罪を思い出す。

過去と現在が交差するとき、コウコとさわこを待ち受けるものとは？人間の本質に迫る傑作。

**シーアさん**がこの本を借りました。

**シーアさん**からの感想です。

昔に読んだことのある作品でした。今、読み返すと当時とはまた違った味わいがありました。再読の機会を頂いてありがとうございました。

このお話の結末は、すべての答えを示してくれるわけではありません。すっきりしないという思う人もいるでしょう。でも、想像の余地を残してくれていると感じます。コウコが自分でも無意識のうちにさわちゃんを救ってくれたのが心から嬉しく思いました。

# 『ちょっと昭和な関西の味』
## さいとう しのぶ/著　リーブル

**大阪のおばちゃん**さんが紹介してくれました。

大阪のおばちゃんさんは、普段、**本に係わるお仕事をしています。**
大阪のおばちゃんさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

大阪のおばちゃんさんからのメッセージです

生まれも育ちも大阪の　さいとうしのぶ　さんが、「これぞ関西の味」を独特の解説とともにお贈りする味わい深い本です。子どもたちには「あっちゃんあがつく」や「おしゃべりさん」の方が楽しく読めるかも！？

S･Yさんがこの本を借りました。

S･Yさんからの感想です。

楽しくもあり、懐かしい気持ちになりました。くすっと笑える文章と挿し絵に癒され、食欲をかきたてられます。

同封されていた「あっちゃんあがつく」は、ひらがなを読めるようになった4歳の娘が夢中で読んでいました。

さいとうしのぶさんの本を娘と一緒にもっと読んでみたいです。

※　図書館より：メッセージに『あっちゃんあがつく』が紹介されていたので、福袋にはこの本も入れました

# 『村上海賊の娘』
# 和田 竜/著　新潮社

**Ryo-ma**さんが紹介してくれました。

Ryo-maさんは、普段、**ピクルス作りをしています。**
Ryo-maさんにとって、この本は**「感動し、勉強になった本」と**の
ことです

Ryo-maさんからのメッセージです

ぜひ、次の大河ドラマになって欲しい作品です。壮大す
ぎて実写では難しいとは思いますが、どの俳優さんが
キャスティングされるかと思うとワクワクします！！

# 名前探しの放課後
## 辻村 深月/著　講談社

**@sakaejyoto**さんが紹介してくれました。

@sakaejyotoさんは、普段、**城東区のお店めぐりをしています。**
@sakaejyotoさんにとって、この本は**「感動し、気持ちが楽になった本」**とのことです

@sakaejyotoさんからのメッセージです

高校生の友達づきあいや、それぞれの努力、思いやりに心打たれて下巻まで一気に読みました。

# 『ドリトル先生のアフリカ行き』
# ヒュー・ロフティング/著　竹書房

**バナちゃん**さんが紹介してくれました。

バナちゃんさんは、普段、**読書をしています。**
バナちゃんさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

バナちゃんさんからのメッセージです

動物と話をするドリトル先生のお話はとてもおもしろいです。特に、動物たちと一緒に困難をのりこえていくところも魅力的です。

13巻あるので、全部読んでみてください。ドリトル先生はお金にルーズなところもあります。

みんな個性豊かでいい動物ばかりです！！

**かおりんさん**がこの本を借りました。

**かおりんさん**からの感想です。

ドリトル先生シリーズは知っていましたが、まだ読んだことがなくて、とても良いチャンスでした。

動物と話ができるようになった理由もわかりました！
勉強たくさんしたのですね。

ドリトル先生の誠実な人柄に、動物たちは惹かれていくのですね~。個性あふれる動物たちとの冒険は、ハラハラドキドキして、私も一緒になって楽しみました。

素敵な本の紹介をありがとうございました！

シリーズ全部読んでいきます～

# 図書館戦争
## 有川 浩/著　KADOKAWA

**かおりん**さんが紹介してくれました。

かおりんさんは、普段、**読書をしています。**
かおりんさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

かおりんさんからのメッセージです

すべての出版物が検閲される架空の日本で、出版の自由を守る人々の活動と、その中で生まれる恋（?!）が描かれています。型破りなラブコメです～

好きな本を読めることの大切さが実感できました。

冒頭に出てくる「図書館の自由に関する宣言」は全ての図書館に掲示されています。図書館に行ったらぜひ！探してみてください！

※　図書館より：こちらのメッセージは福袋展の期間終了後にいただいたものです。

# 妖怪アパートの幽雅な日常
## 香月　日輪/著　講談社

**かおりん**さんが紹介してくれました。

かおりんさんは、普段、**読書をしています。**
かおりんさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

かおりんさんからのメッセージです

主人公の高校生が入居したアパートは普通じゃなかった！

次々と目の当たりにする非日常が、登場人物が、とても魅力的で、全10巻！一気読みしてしまいました！

どんどん主人公が人として成長していく姿は輝いています。

るり子さんの作る料理（まかない）が食べてみたい！

※　図書館より：こちらのメッセージは福袋展の期間終了後にいただいたものです。

令和2(2020)年10月
大阪市立城東図書館
大阪市城東区中央3-5-45
電話　06-6933-0350
https://www.oml.city.osaka.lg.jp